

ごみ収集方法についての アンケート調査の結果

平成30年10月

市民環境部 環境課

【 ごみ収集方法についてのアンケート調査概要 】

目 的	今後の廃棄物行政の基礎資料とする
対 象 者	無作為抽出による
対 象 者 数	2, 000名
調 査 方 法	郵便調査法、無記名アンケート質問用紙による回答、郵便により返送
調 査 期 間	平成29年12月8日（金）から12月22日（金）まで
質 問 数	26問

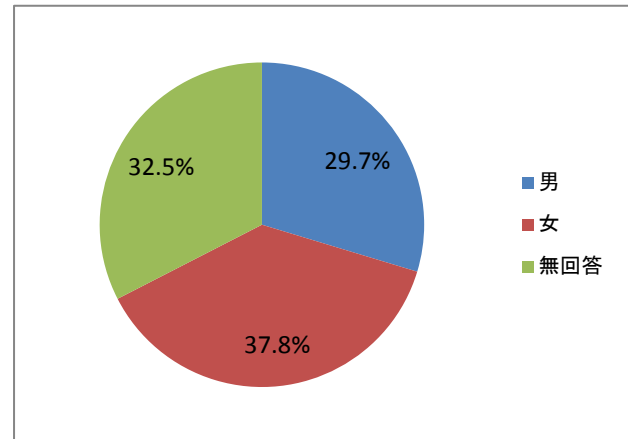
【 回答状況 】

対 象 者 数	2, 000 名
回 答 数	974 名
返 戻	9 名
回 収 率	48. 92 %（到着数に対して）

【A】 性別

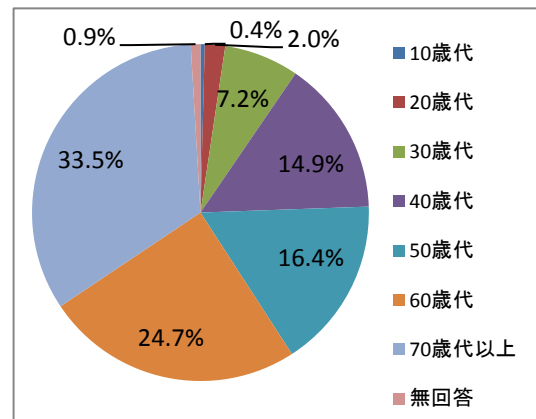
回答項目	回答数	割合
男	289	29.7%
女	368	37.8%
無回答	317	32.5%
合計	974	100.0%

回答は女性の方が多く結果となっています。無回答のケースは、家族と相談しながら記入されたため、性別の記入ができなかったものと考えられます。



【B】 年齢

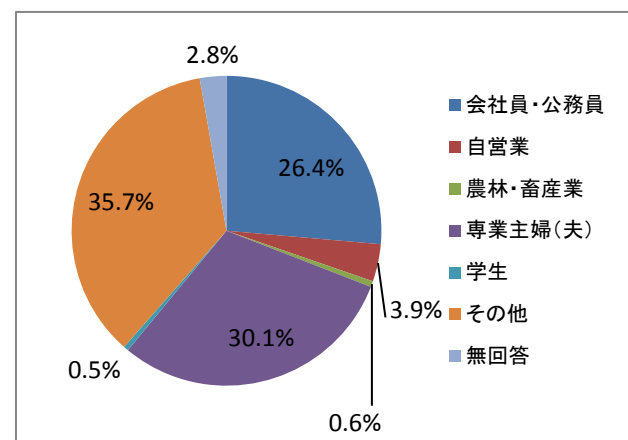
回答項目	回答数	割合
10歳代	4	0.4%
20歳代	19	2.0%
30歳代	70	7.2%
40歳代	145	14.9%
50歳代	160	16.4%
60歳代	241	24.7%
70歳代以上	326	33.5%
無回答	9	0.9%
合計	974	100.0%



70歳代以上の回答が最も多く、60歳代、70歳代以上を合わせると58.2%となっております。一方で10歳代が最も低い結果となりました。世帯単位で発送を行っていることも原因ですが、北広島市の人口構成と比較すると、前回と同様高齢の方の回答が非常に多くなっています。

【C】 職業

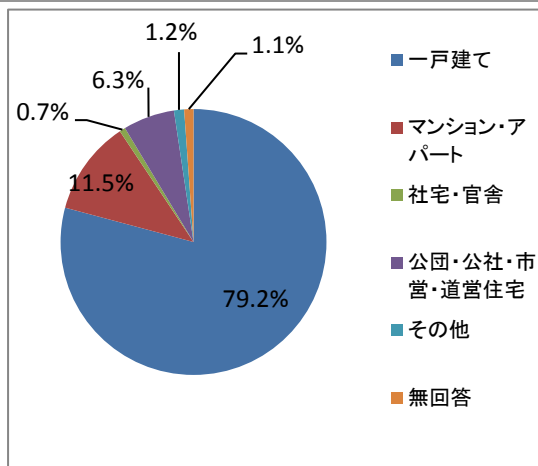
回答項目	回答数	割合
会社員・公務員	257	26.4%
自営業	38	3.9%
農林・畜産業	6	0.6%
専業主婦(夫)	293	30.1%
学生	5	0.5%
その他	348	35.7%
無回答	27	2.8%
合計	974	100.0%



その他の回答が最も多く、次に専業主婦(夫)、会社員・公務員が多い結果となりました。その他は、無職、年金生活者等となっています。

【D】 居住形態

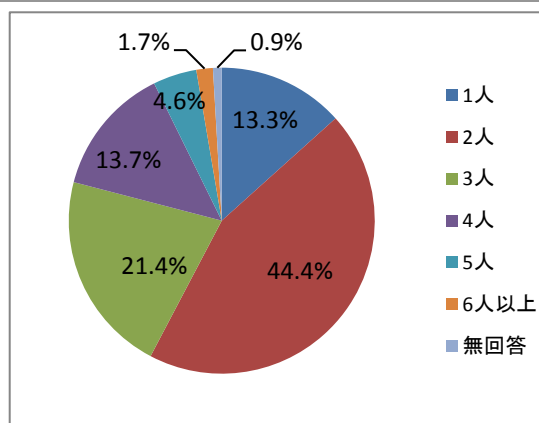
回答項目	回答数	割合
一戸建て	771	79.2%
マンション・アパート	112	11.5%
社宅・官舎	7	0.7%
公団・公社・市営・道営住宅	61	6.3%
その他	12	1.2%
無回答	11	1.1%
合計	974	100.0%



一戸建ての回答が最も多い結果となっています。

【E】 世帯人員

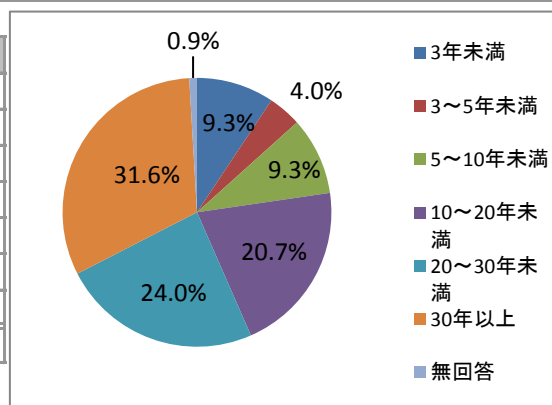
回答項目	回答数	割合
1人	130	13.3%
2人	432	44.4%
3人	208	21.4%
4人	133	13.7%
5人	45	4.6%
6人以上	17	1.7%
無回答	9	0.9%
合計	974	100.0%



世帯人員では2人の回答が最も多い結果となっています。

【F】 居住年数

回答項目	回答数	割合
3年未満	91	9.3%
3～5年未満	39	4.0%
5～10年未満	91	9.3%
10～20年未満	202	20.7%
20～30年未満	234	24.0%
30年以上	308	31.6%
無回答	9	0.9%
合計	974	100.0%

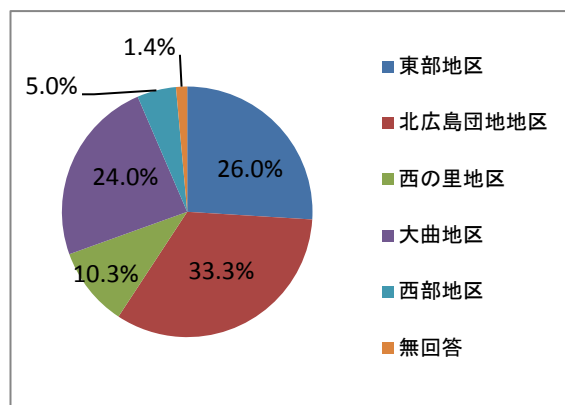


居住年数は30年以上が最も多く、次に20～30年未満の回答が多い結果となっています。

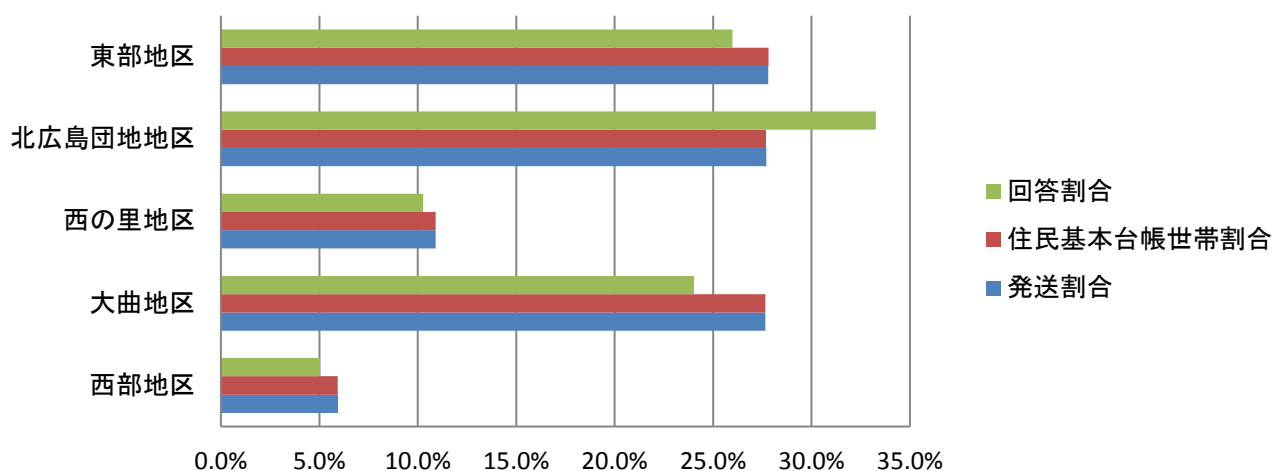
【G】 居住地域

回答項目	回答数	回答割合	発送割合	住民基本台帳世帯割合	前回回答割合
東部地区	253	26.0%	27.8%	27.8%	24.8%
北広島団地地区	324	33.3%	27.7%	27.7%	34.6%
西の里地区	100	10.3%	10.9%	10.9%	10.8%
大曲地区	234	24.0%	27.7%	27.7%	24.3%
西部地区	49	5.0%	6.0%	5.9%	5.0%
無回答	14	1.4%	—	—	0.6%
合計	974	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

北広島団地からの回答が最も多くなっています。発送数の各地区回答割合を見ても北広島団地地区が高い回収率となっています。また、平成29年10月の住民基本台帳の各地域世帯割合と比較しても極端な差はない結果となっています。

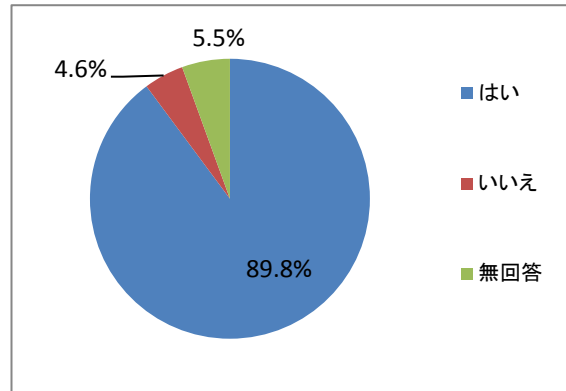


住民基本台帳に基づく各地域の世帯割合との比較



【問1】 ごみの分別の際に「クリーンタウンきたひろしま」を活用していますか。

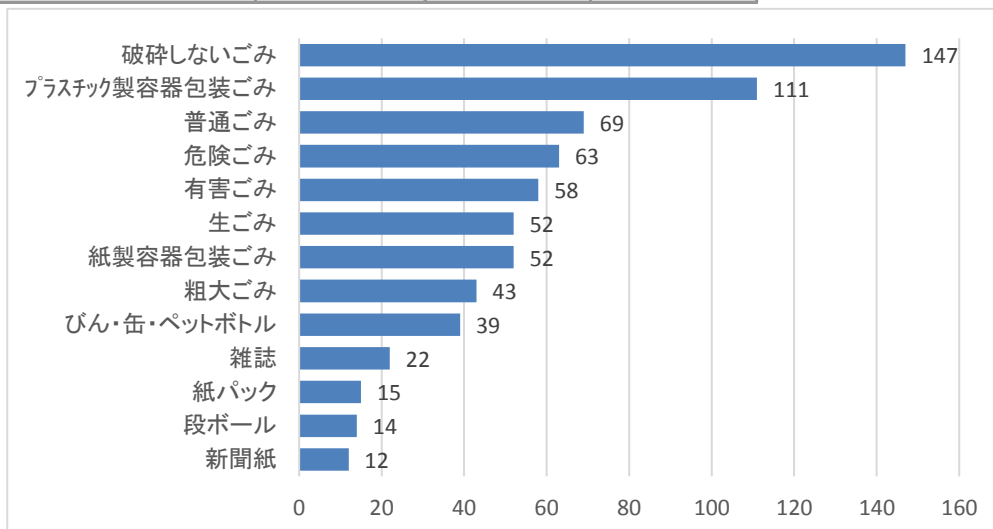
No.	回答項目	回答数	割合
1	はい	875	89.8%
2	いいえ	45	4.6%
0	無回答	54	5.5%
合計		974	100.0%



平成28年4月に「クリーンタウンきたひろしま」を刷新しましたが、前回同様、およそ9割の家庭で活用されていることが分かる結果となっています。

【問2】 ごみの分別で分かりづらいごみの種類は何ですか。ごみの種類を選んでください（複数回答可）

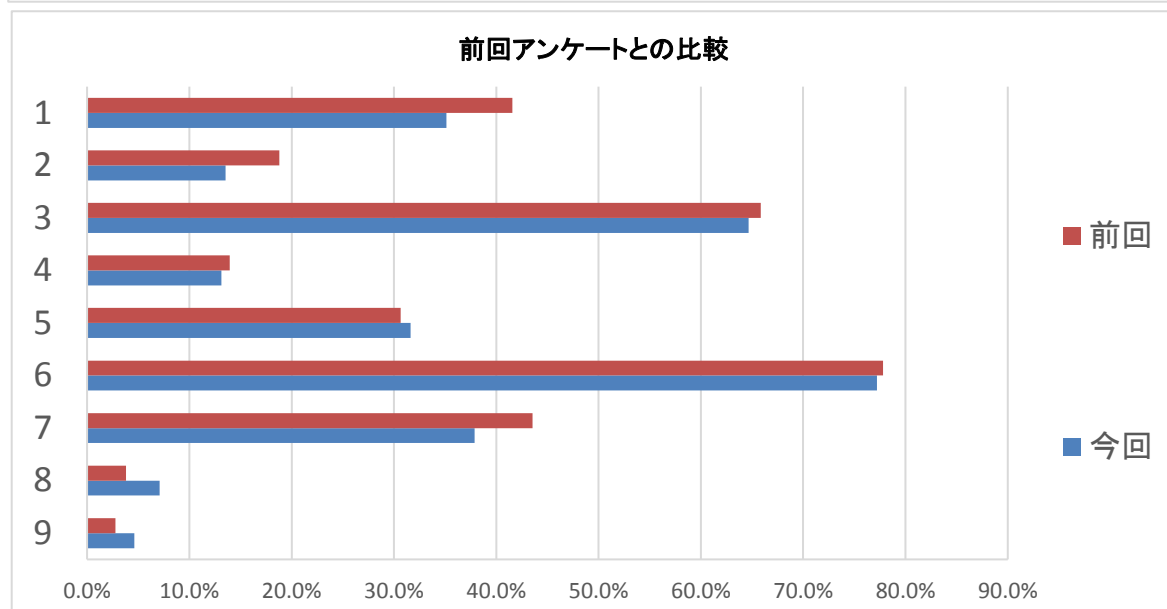
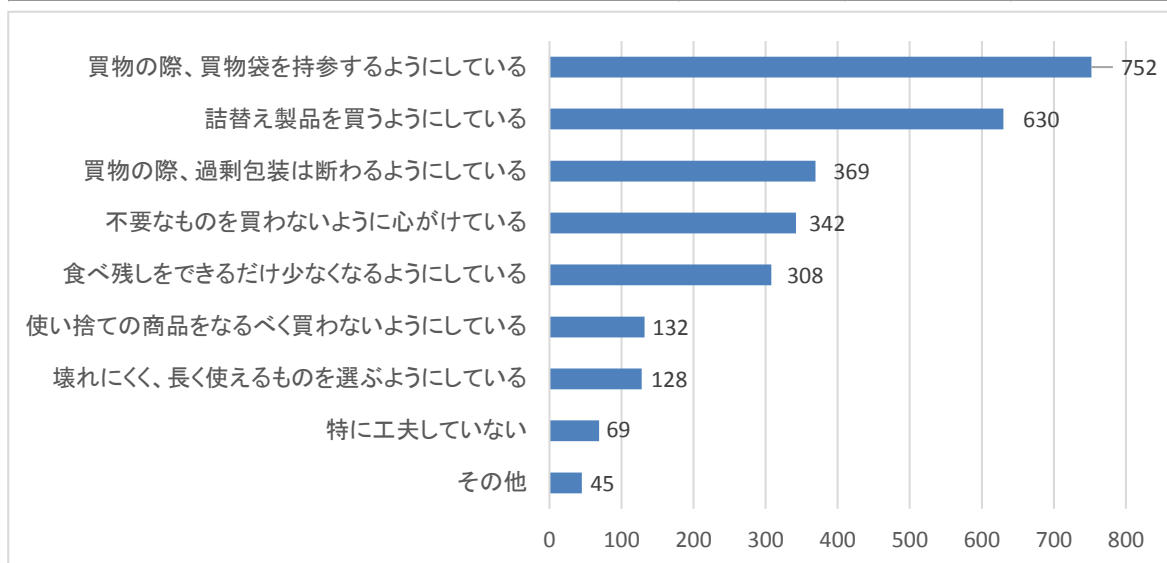
No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	普通ごみ	69	7.1%	12.4%
2	生ごみ	52	5.3%	6.8%
3	破碎しないごみ	147	15.1%	30.8%
4	危険ごみ	63	6.5%	10.4%
5	粗大ごみ	43	4.4%	12.1%
6	プラスチック製容器包装ごみ	111	11.4%	19.9%
7	紙製容器包装ごみ	52	5.3%	9.0%
8	びん・缶・ペットボトル	39	4.0%	5.7%
9	有害ごみ	58	6.0%	12.9%
10	段ボール	14	1.4%	1.5%
11	紙パック	15	1.5%	1.5%
12	新聞紙	12	1.2%	0.3%
13	雑誌	22	2.3%	2.2%
14	特にない	463	47.5%	-
合計		1160	-	-



「特にない」が最も多く、ごみの分別について周知されてきている結果となりました。上のグラフでは、分かりづらいごみの種類を回答数の多い順にグラフに表しました。①破碎しないごみ、②プラスチック製容器包装ごみ、③普通ごみ、となっています。分かりづらい理由としては、「普通ごみと破碎しないごみの区分が分からない」や「資源ごみを出す際の透明・半透明の袋の区別が分かりづらい」などとなっています。

【問3】 ごみとなるものを減らすためにどのような工夫をしていますか。（複数回答可）

No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	不要なものを買わないように心がけている	342	35.1%	41.6%
2	使い捨ての商品をなるべく買わないようにしている	132	13.6%	18.8%
3	詰替え製品を買うようにしている	630	64.7%	65.8%
4	壊れにくく、長く使えるものを選ぶようにしている	128	13.1%	13.9%
5	食べ残しをできるだけ少なくなるようにしている	308	31.6%	30.7%
6	買物の際、買物袋を持参するようにしている	752	77.2%	77.8%
7	買物の際、過剰包装は断わるようにしている	369	37.9%	43.6%
8	特に工夫していない	69	7.1%	3.8%
9	その他	45	4.6%	2.8%
合計		2775	-	-

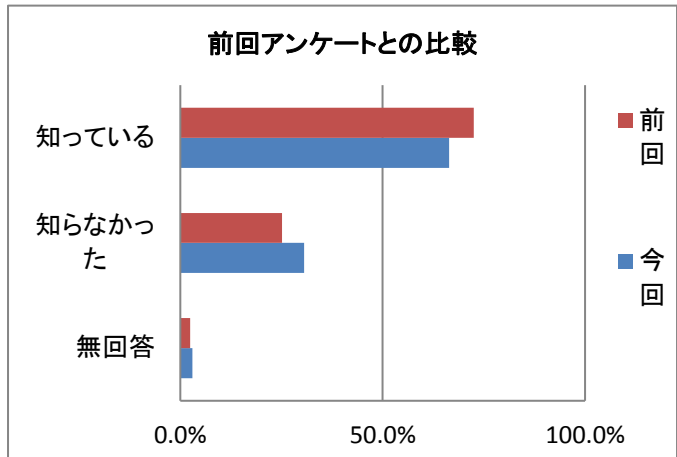
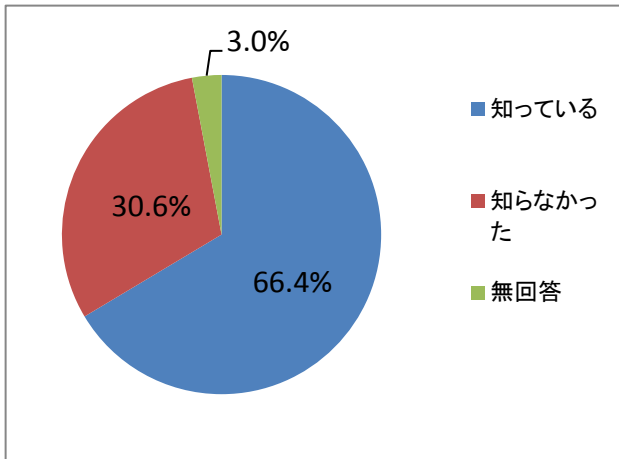


前回アンケートと同様に「買物の際、買物袋を持参するようにしている」が最も多い回答で、「詰替え製品を買うようにしている」は2番目に多い回答になりました。その他の意見として、「生ごみのコンポスト処理」や「ごみ分別の徹底」、「資源回収に出す」などとなっています。

【問4】

北広島市では、最終処分場に埋め立てるごみを少しでも減らすために、ご家庭から出る「生ごみ」の中間処理（バイオガス化処理）を平成23年度から実施しています。このため、市民の皆さんに「生ごみ」を分別していただいています。この生ごみの分別、中間処理についてご存知でしたか。

No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	知っている	647	66.4%	72.5%
2	知らなかった	298	30.6%	25.1%
3	無回答	29	3.0%	2.4%
合計		974	100.0%	100.0%



前回アンケートでは、「知っている」が72.5%でしたが、今回アンケートでは、「知っている」がおおよそ66.4%でした。平成23年から生ごみのバイオガス化が始まりましたが、まだ30.6%の方が知らないとの回答でした。生ごみの分別、中間処理の仕組みが浸透してきていますが、今後、より多くの市民の方に生ごみの分別、中間処理の仕組みを知ってもらうために、生ごみ分別啓発を引き続き行います。参考のため、居住年数別の集計を以下の表のとおり抽出しました。

【居住年数別集計】

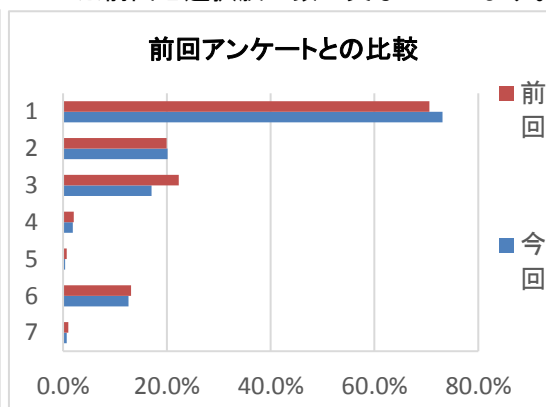
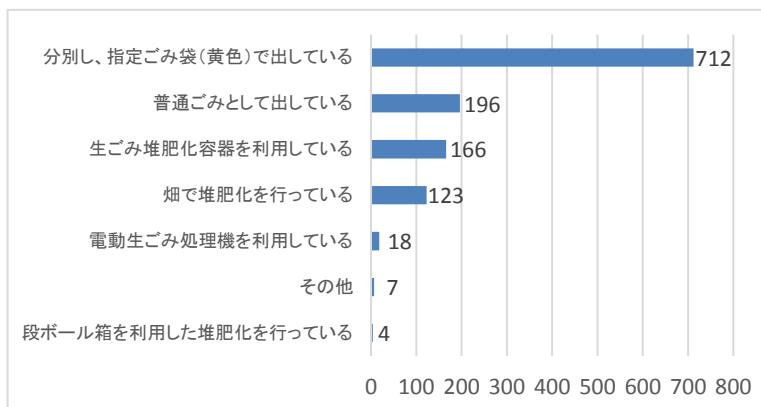
No.		知っている		知らなかった		合計
		回答数	割合	回答数	割合	
1	3年未満	48	53.9%	41	46.1%	100.0%
2	3～5年未満	15	39.5%	23	60.5%	100.0%
3	5～10年未満	57	62.6%	34	37.4%	100.0%
4	10～20年未満	143	73.3%	52	26.7%	100.0%
5	20～30年未満	157	68.9%	71	31.1%	100.0%
6	30年以上	224	74.9%	75	25.1%	100.0%
合計		644	-	296	-	-

居住年数が「3年未満」の方の46.1%が生ごみのバイオガス化処理について知らなかったと回答しています。また、「3～5年未満」の方の60.5%が知らなかったと回答しており、居住年数の浅い方には生ごみのバイオガス化処理についてあまり知られていないとの結果が出ています。同様に、居住年数が5年以上になると概ね知っているという結果が出ており、理由としては生ごみのバイオガス化処理についての認知を受ける機会が十分にあったことが考えられます。引き続き、転居されてきた世帯に対する転入時の啓発を強化していきます。

【問5】 ご家庭で「生ごみ」はどのように処理していますか。（複数回答可）

No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	分別し、指定ごみ袋（黄色）で出している	712	73.1%	70.6%
2	普通ごみとして出している	196	20.1%	19.9%
3	生ごみ堆肥化容器を利用している	166	17.0%	22.3%
4	電動生ごみ処理機を利用している	18	1.8%	2.1%
5	段ボール箱を利用した堆肥化を行っている	4	0.4%	0.7%
6	畑で堆肥化を行っている	123	12.6%	13.1%
7	その他	7	0.7%	1.0%
合計		1226	-	-

※前回と選択肢の数が異なっています。



「分別し、指定ごみ（黄色）出している」という回答が最も多く73.1%でした。しかし、「普通ごみとして出している」という回答は20.1%となっており、分別をせずに排出している方も一定割合いることがわかります。もっとも、本設問は複数回答形式であることから正確な回答者数に応じた内訳とはならないため、参考のため以下の表のとおり内訳を再編成しました。

【回答者数に応じて再編成したもの】

No.	回答項目	回答数	割合
1	生ごみは分別し、指定ごみ袋で出している。生ごみを普通ごみとして出すということはない。	668	68.6%
2	生ごみは普通ごみで出している。分別して指定ごみ袋（黄色）で出すことはしない。	152	15.6%
3	生ごみは分別することもあるが、普通ごみとして出すこともあり、そのときどきで違う。	44	4.5%
4	ステーションに生ごみを出すことはない。畑やコンポストを利用した堆肥化等により自家処理している。	99	10.2%
0	無回答	11	1.1%
合計		974	100.0%

「生ごみは分別し、指定ごみ袋で出している。生ごみを普通ごみとして出すということはない。」という回答が最も多く68.6%であり、「ステーションに生ごみを出すことはない。畑やコンポストを利用した堆肥化等により自家処理している。」という回答10.2%を合わせた適正にごみを分別している方々は78.8%と全体の約8割にも及んでいます。市民の皆さまの間に、生ごみの分別及び堆肥化等によるごみの減量化の取り組みが浸透してきているということが言えると思います。

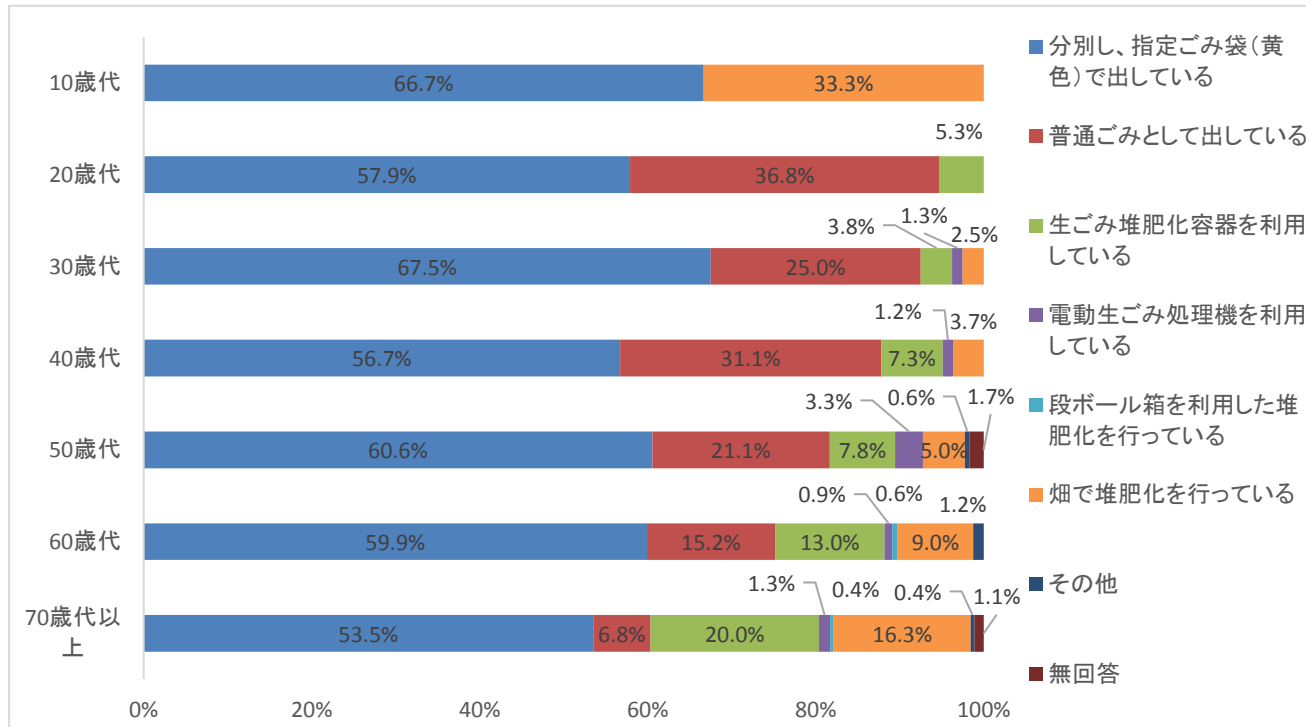
「生ごみは分別することもあるが、普通ごみとして出すこともあり、そのときどきで違う。」とした回答は4.5%にすぎず、分別をする人は分別し、分別せず普通ごみとして出す人は全く分別をしないという傾向がうかがえます。今後は、全く分別を行わず生ごみを普通ごみとして出している15.6%の方々にこういった啓発を行っていくか検討をする必要があります。検討のため、問4における生ごみのバイオガス化処理について知っていたか否かについての集計との相関について8ページの通り表をまとめました。

【生ごみの分別、中間処理に関する認知度と生ごみ処理方法についての相関関係】

No.		知っている	知らなかった	無回答
		回答数	回答数	回答数
1	生ごみは分別し、指定ごみ袋で出している。 生ごみを普通ごみとして出すということはない。	446	208	14
2	生ごみは普通ごみで出している。 分別して指定ごみで出すことはしない。	96	54	2
3	生ごみは分別することもあるが、普通ごみとして出すこともあり、そのときどきで違う。	31	12	1
4	ステーションに生ごみを出すことはない。畑やコンポストを利用した堆肥化等により自家処理している。	74	24	1
0	無回答	0	0	11
合計		647	298	29

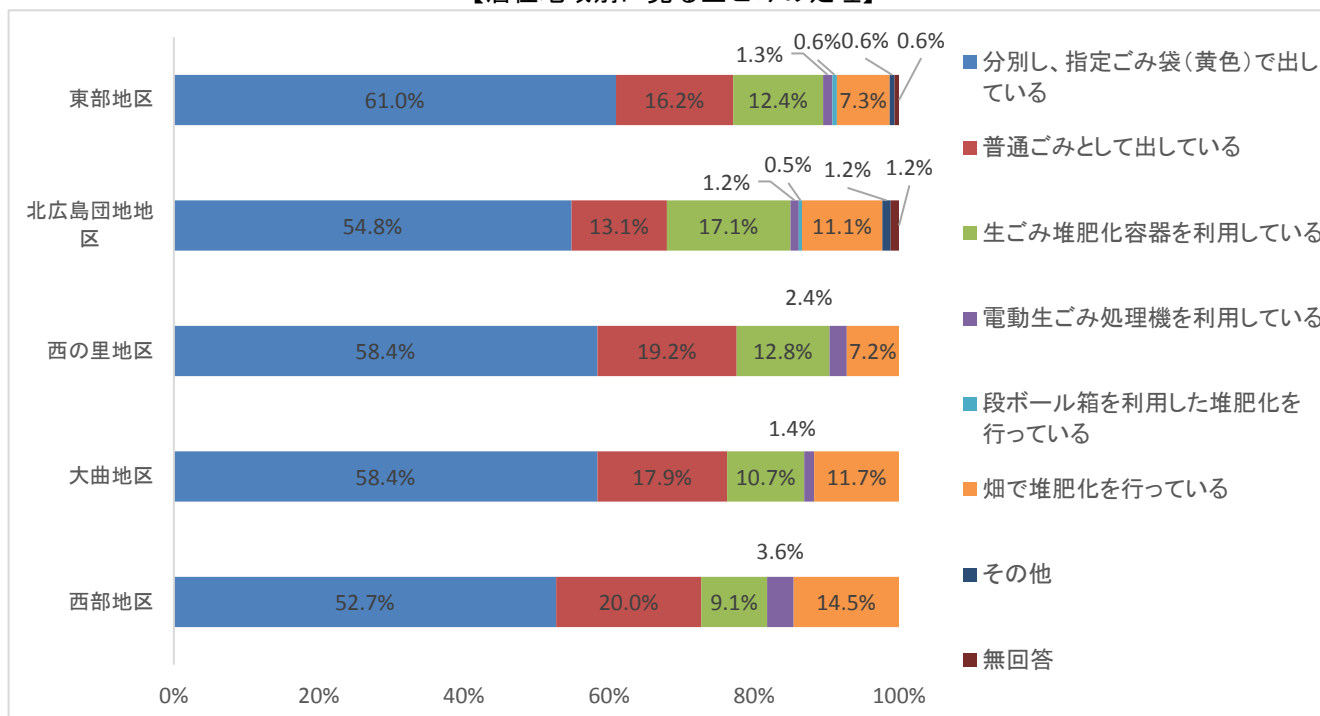
生ごみのバイオガス化処理について「知らなかった」と答えた方のほうが「知っている」と答えた方より「生ごみを普通ごみで出している。分別して指定ごみ（黄色）で出すことはない」とする割合が高いことがわかりましたが、その差はあまり大きくありません。生ごみをバイオガス化処理していることを知っているか否かは分別を行うか否かという行動に大きな影響は与えていないようです。

【年代別に見る生ごみの処理】



年代別に見ると、各年代とも「分別し、指定ごみ袋(黄色)で出している」との回答が50%以上を占めており、30歳代では67.5%と高い数値となっています。また、50歳代以上になると「普通ごみとして出している」の回答割合が減っています。その分、「生ごみ堆肥化容器を利用している」や「畑で堆肥化を行っている」の回答割合が多くなっています。

【居住地域別に見る生ごみの処理】



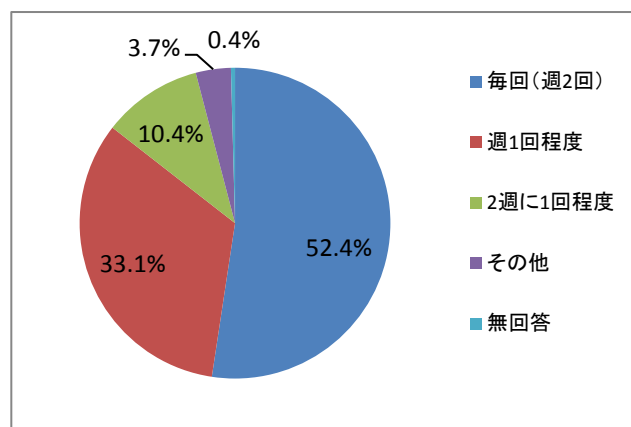
地域別に見ても、各地域とも「分別し、指定ごみ(黄色)出している」との回答が50%以上を占めており、東部地区では61.0%と高い数値となっています。「生ごみ堆肥化容器を利用している」との回答は北広島団地地区(17.1%)と西の里地区(12.8%)が高く、「畑で堆肥化を行っている」との回答は西部地区(14.5%)が高い結果となっています。

【問6】 生ごみをどれだけの回数で出されていますか。

※問5で回答項目1を回答された方のみ回答しています

No.	回答項目	回答数	割合
1	毎回(週2回)	373	52.4%
2	週1回程度	236	33.1%
3	2週に1回程度	74	10.4%
4	その他	26	3.7%
0	無回答	3	0.4%
合計		712	100.0%

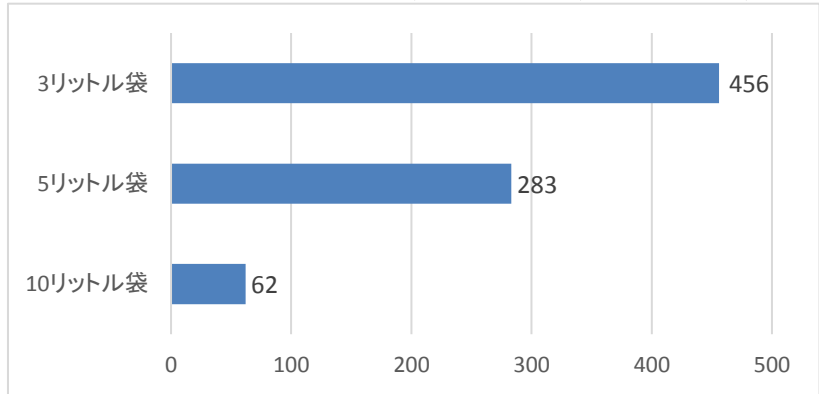
週2回が52.4%と最も多く、次に週1回の33.1%でした。その他としては、「夏季は畑で堆肥化を行っており冬季は生ごみ堆肥化容器を利用していることから、生ごみをごみとして排出してはいいない」等がありました。



【問7】 生ごみを出すときに何リットルの指定ごみ袋を使っていますか。(複数回答可)

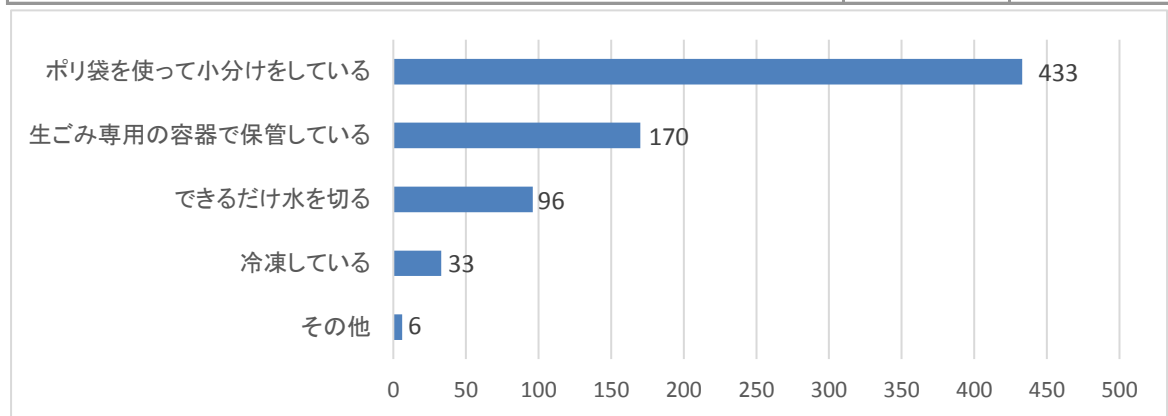
No.	回答項目	回答数	割合
1	3リットル袋	456	46.8%
2	5リットル袋	283	29.1%
3	10リットル袋	62	6.4%
合計		801	-

3リットル、46.8%、5リットルで29.1%となっており、10リットル袋はあまり使用されていない状況となっています。



【問8】 生ごみを分別するうえで、工夫していることがありますか。(複数回答可)

No.	回答項目	回答数	割合
1	ポリ袋を使って小分けをしている	433	52.7%
2	生ごみ専用の容器で保管している	170	20.7%
3	冷凍している	33	4.0%
4	できるだけ水を切る	96	11.7%
5	その他	6	0.7%
合計		738	-



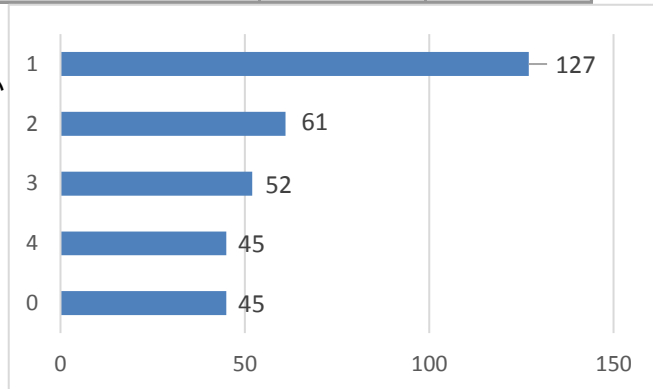
「ポリ袋を使って小分けをしている」が最も多い回答となっています。次に「生ごみ専用の容器で保管している」となっています。

【問9】 生ごみを普通ごみとして出している理由はなぜですか。（複数回答可）

※問5で回答項目2を回答された方のみ回答しています

No.	回答項目	回答数	割合
1	生ごみであっても出せない物があるから(卵の殻、貝殻、トウモロコシ、タケノコの皮)	127	64.8%
2	分別するのが面倒だから	61	31.1%
3	生ごみを分別しても普通ごみと同じ手数料だから	52	26.5%
4	その他	45	23.0%
0	無回答	45	23.0%
合計		330	-

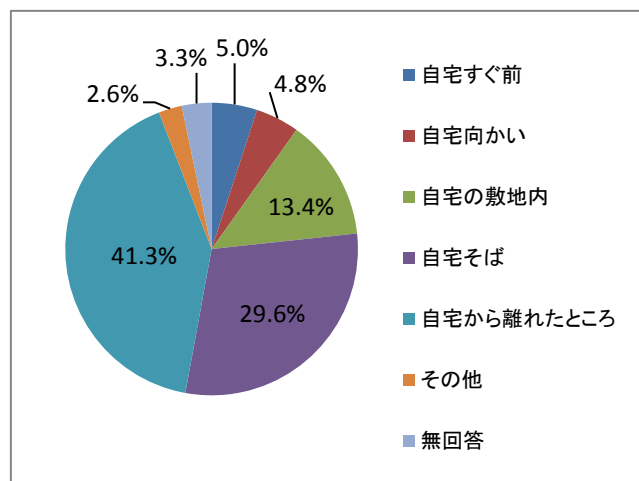
「生ごみであっても出せない物があるから」が127と最も多く、次いで「分別するのが面倒だから」が61と、生ごみを分ける手間感が原因で普通ごみとして出している数が188となっています。続いて、「生ごみを分別しても普通ごみと同じ手数料だから」が52となっています。また、その他の意見として「収集日まで家庭で生ごみを保管するのが難しい」、「毎回少量しか出ないため、普通ごみに混ぜて出している」などとなっています。



【問10】 あなたが利用しているごみステーションはどこにありますか。
1つだけ選んでください。

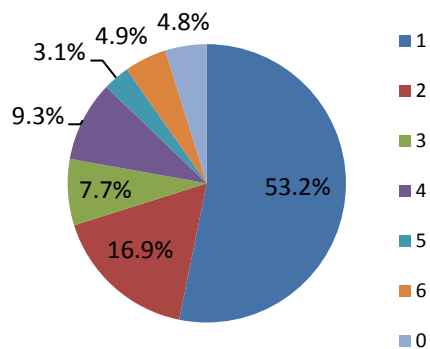
No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	自宅のすぐ前	49	5.0%	6.3%
2	自宅の向かい	47	4.8%	4.6%
3	自宅（アパート、マンション）の敷地内	131	13.4%	12.8%
4	自宅そば（1～3軒となり）	288	29.6%	31.4%
5	自宅から離れたところ（4軒以上離れている）	402	41.3%	41.7%
6	その他	25	2.6%	1.9%
0	無回答	32	3.3%	1.3%
合計		974	100.0%	100.0%

ごみステーションの位置については、「自宅から離れたところ（4軒以上離れている）」が41.3%と最も多く、次いで「自宅そば（1～3軒となり）」、「自宅（アパート、マンション）の敷地内」となっています。なお、平成29年度末のごみステーション数は1,090カ所であり、世帯数は27,278世帯ですので、約25世帯が1カ所のごみステーションを利用していることになります。その他として、「輪番制」などがありました。



【問 1 1】 ごみステーションの管理はどなたがされていますか。
1つだけ選んでください。

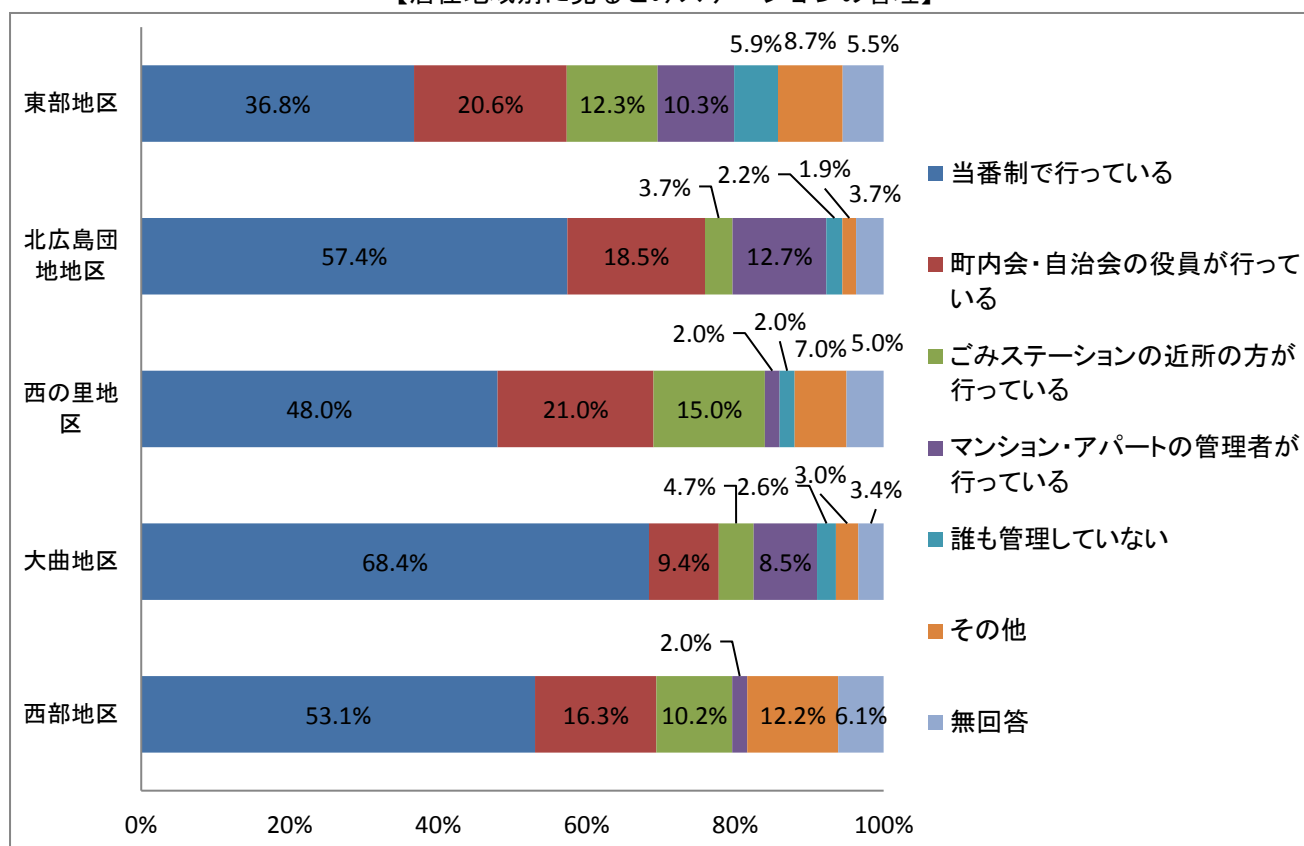
No.	回答項目	回答数	割合
1	当番制で行っている	518	53.2%
2	町内会・自治会の役員が行っている	165	16.9%
3	ごみステーションの近所の方が行っている	75	7.7%
4	マンション・アパートの管理者が行っている	91	9.3%
5	誰も管理していない	30	3.1%
6	その他	48	4.9%
0	無回答	47	4.8%
合計		974	100.0%



ごみステーションの管理では、「当番制で行っている」が53.2%と最も多く、次に「町内会・自治会の役員が行っている」の16.9%でした。

その他としては、「気が付いた人が自主的に掃除している」「分からない」などがありました。

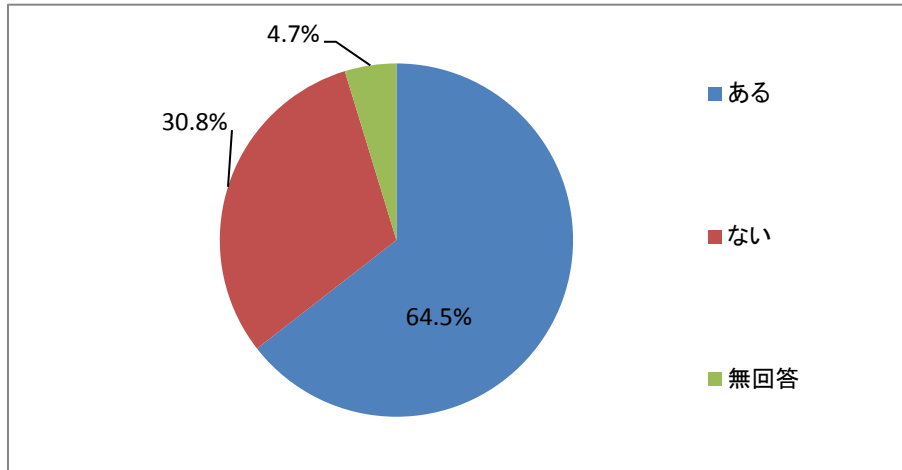
【居住地域別に見るごみステーションの管理】



地域別に見ても、各地区で「当番制で行っている」が最も多い結果となっています。最も割合の多かった地域は大曲地区の68.4%でした。次に北広島団地地区の57.4%でした。

【問 1 2】 あなた(ご家族の方を含む)は、ごみステーションの管理に関わったことがありますか。
1つだけ選んでください。

No.	回答項目	回答数	割合
1	ある	628	64.5%
2	ない	300	30.8%
0	無回答	46	4.7%
合計		974	100.0%

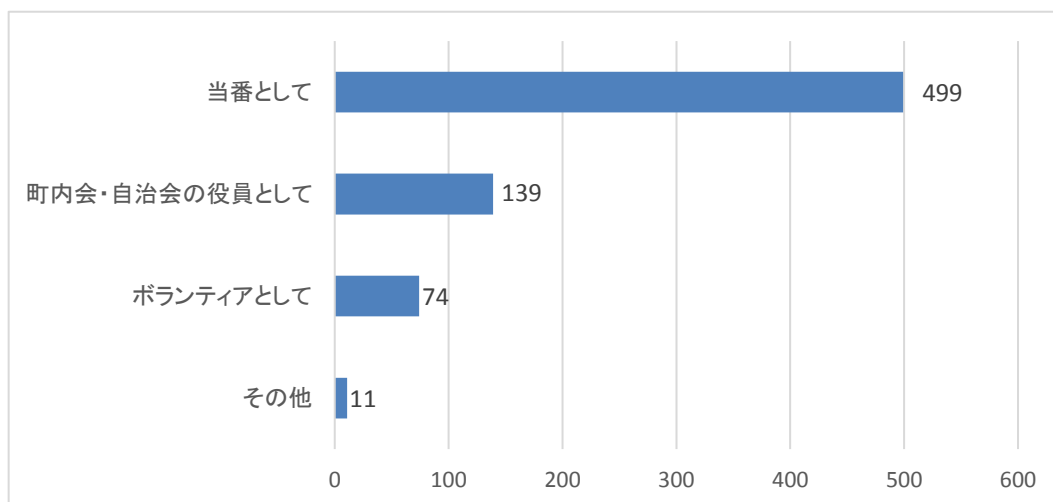


ごみステーションの管理について、関わったことが「ある」と答えた方は64.5%でした。

【問 1 3】 どのような形で関わったことがありますか。(複数回答可)

※問12で回答項目1を回答された方のみ回答しています。

No.	回答項目	回答数	割合
1	町内会・自治会の役員として	139	22.1%
2	当番として	499	79.5%
3	ボランティアとして	74	11.8%
4	その他	11	1.8%
合計		723	-

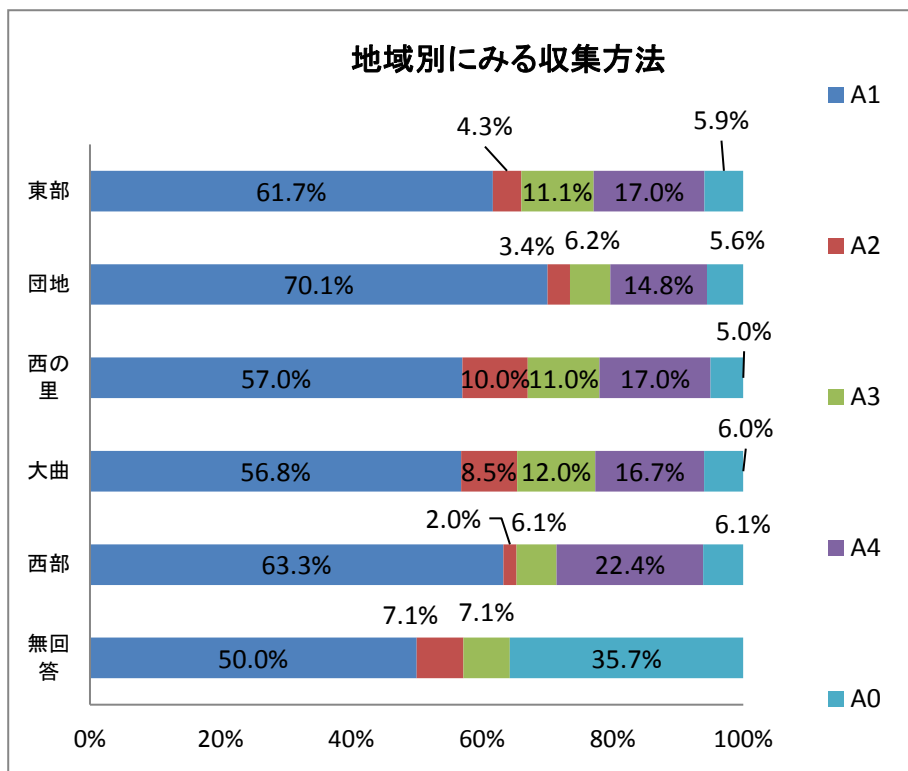
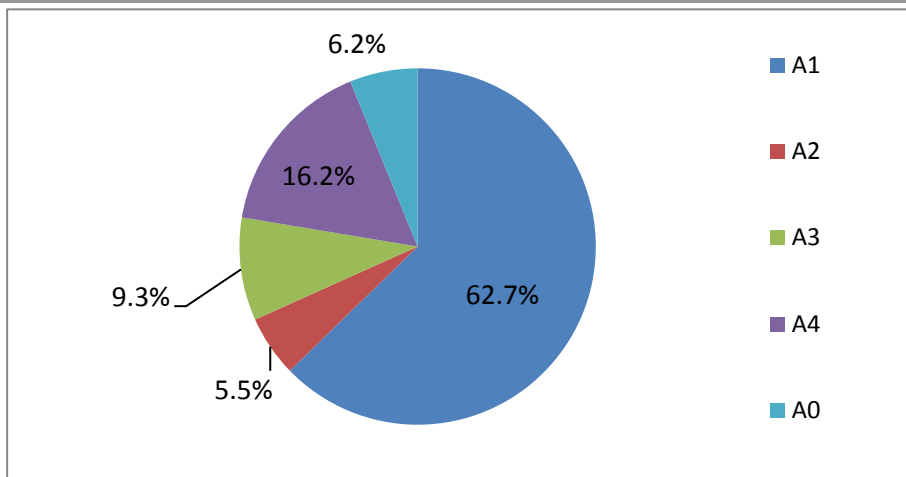


「当番として」関わったことがあるという回答が最も多い結果となりました。その他の意見として、「家の近くにあるため自主的に掃除している」などの意見がありました。

【問14】 現在の収集方法についてどう思いますか。
また、その方法を選んだ理由についても選択してください。

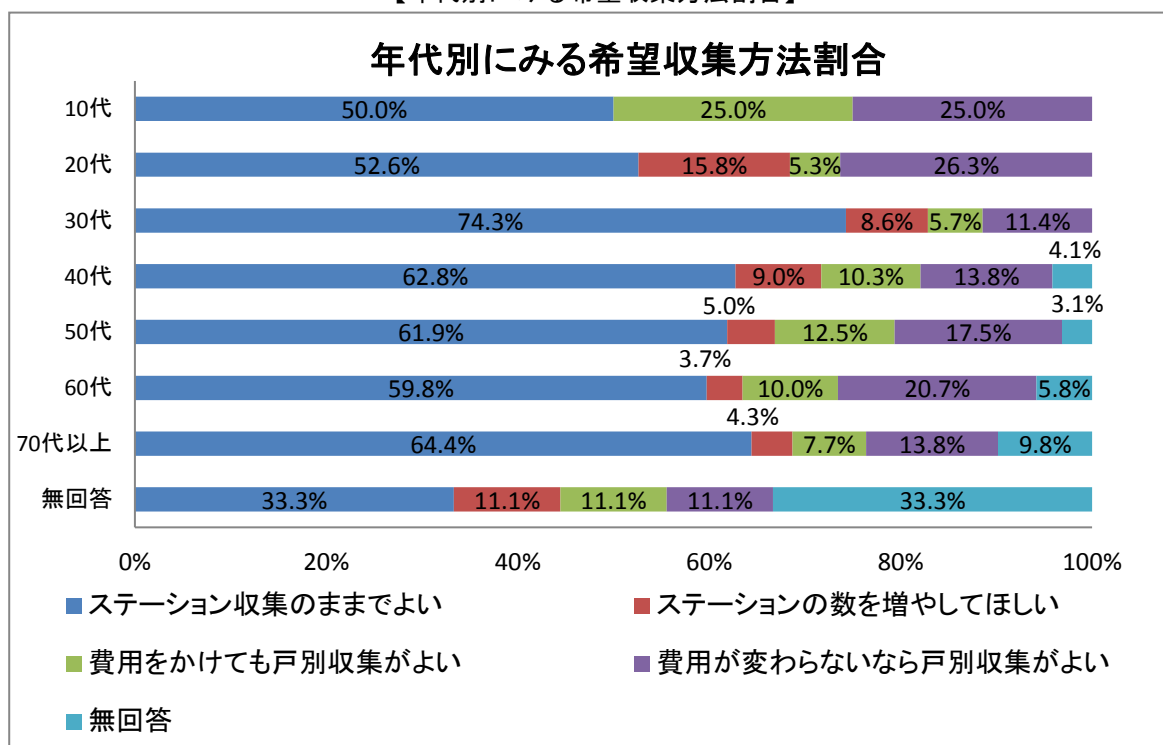
● ① 収集方法

No.	回答項目	回答数	割合
A1	ごみステーション収集のままでよい	611	62.7%
A2	ごみステーションの数を増やして、1ヶ所あたりの利用世帯数を少なくしたほうがよい	54	5.5%
A3	費用をかけても玄関前(アパート、マンションは棟ごと)からの収集がよい(戸別収集)	91	9.3%
A4	費用が変わらないなら玄関前(アパート、マンションは棟ごと)からの収集がよい(戸別収集)	158	16.2%
A0	無回答	60	6.2%
合計		974	100.0%



収集方法について、「ごみステーション収集のままでよい」が62.7%と最も多い結果となっています。収集方法について地域別に見ると、各地域とも「ごみステーション収集のままでよい」が最も多く、次いで「費用が変わらないなら玄関前(アパート、マンションは棟ごと)からの収集がよい(戸別収集)」が2番目に多い結果となっています。

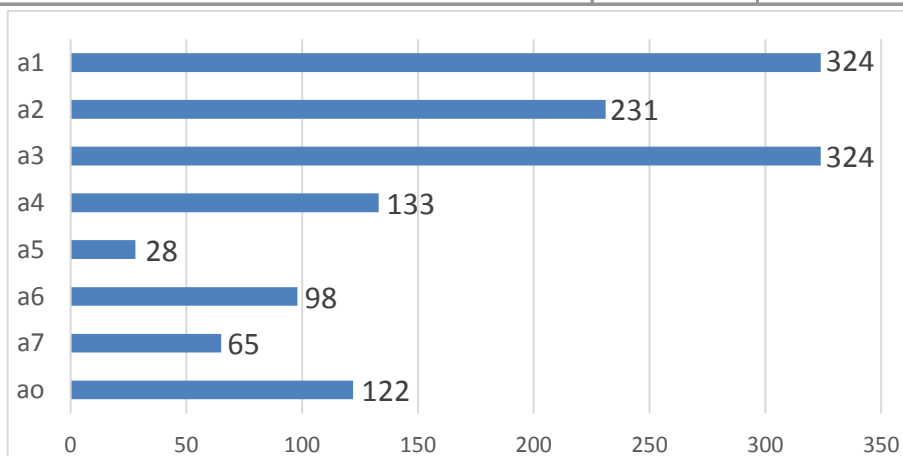
【年代別にみる希望収集方法割合】



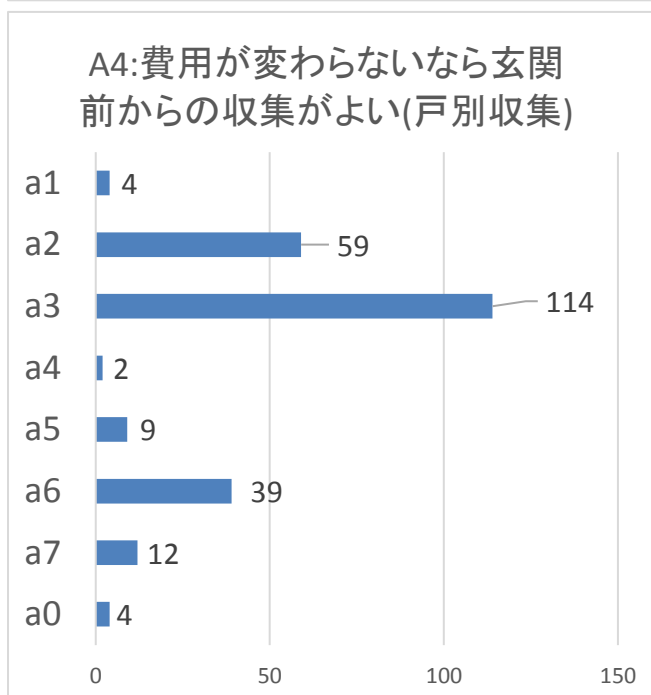
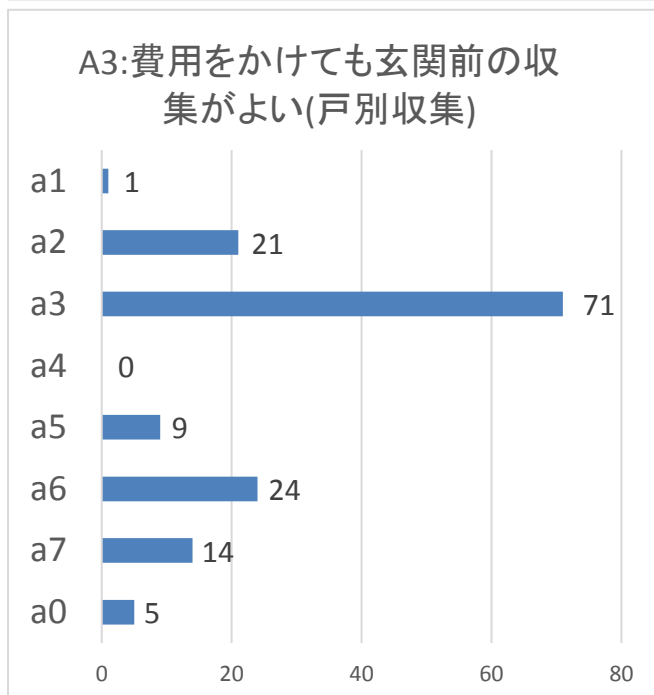
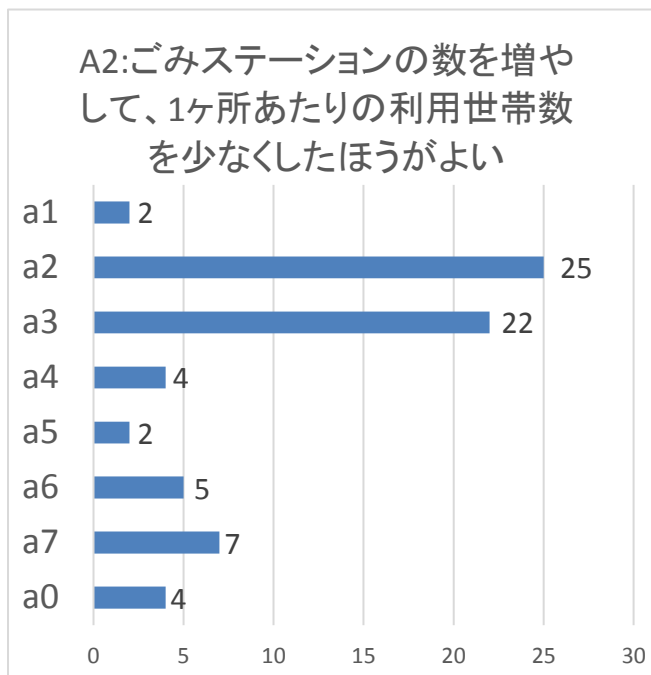
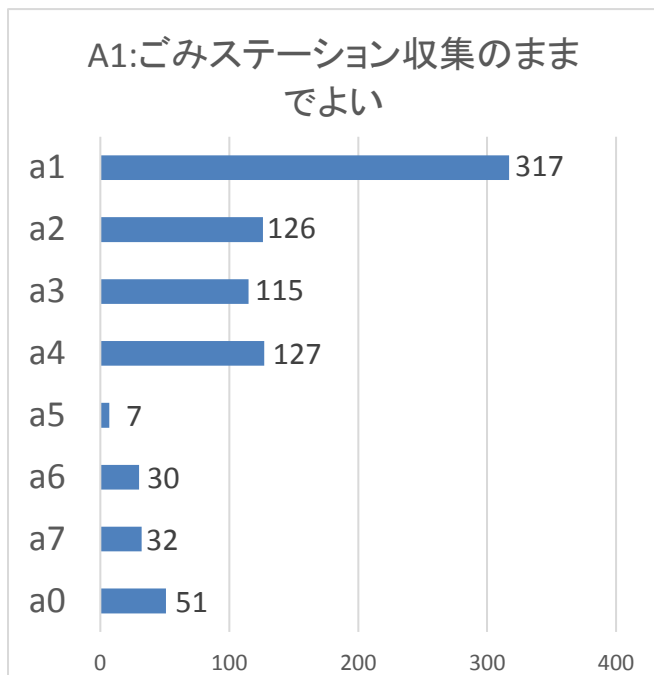
収集方法について、各年代別にみると、「費用をかけても戸別収集がよい」と答えた割合が10代では25.0%、20代では5.3%、30代では5.7%、40代では10.3%、50代では12.5%、60代では10.0%、70代以上では7.7%と低い割合となっています。一方で「費用が変わらないなら戸別収集がよい」と答えた割合は10代では25.0%、20代では26.3%、30代では11.4%、40代では13.8%、50代では17.5%、60代では20.7%、70代以上では13.8%と「費用をかけても戸別収集がよい」に比べると高い割合となっています。高齢化に伴いステーション収集ではなく戸別収集を希望する割合が増加することも考えられましたが、高齢世代ほど必ずしも戸別収集を希望しているわけではないという結果となっています。理由としては、高齢世代ほど生ごみ等の分別を適切に行っている傾向があることから、不適正排出にともなうステーション収集についてのトラブルが少ないこと、収集経費増加に対する憂慮が考えられます。

● ② 収集方法を選んだ理由

No.	回答項目	回答数	割合
a1	収集経費を抑えることができるから	324	33.3%
a2	ごみを出すのに便利だから	231	23.7%
a3	ごみ出しルールを守るようになるから	324	33.3%
a4	家の前にごみを置きたくないから	133	13.7%
a5	ごみステーションのそばだと不公平だから	28	2.9%
a6	ごみステーションの管理が大変だから	98	10.1%
a7	その他	65	6.7%
a0	無回答	122	12.5%
合計		1325	-



【希望収集方法別にみる希望理由】



収集方法の62.7%を占める「ごみステーション収集のままでよい」を選んだ理由としては「収集経費を抑えることができるから」が最も多く、次いで「家の前にごみを置きたくないから」となっています。

収集方法ごとの理由を見てみると、「ごみステーションの数を増やして、1ヶ所あたりの利用世帯数を少なくしたほうがよい」では「ごみを出すのに便利だから」が最も多い結果となりました。

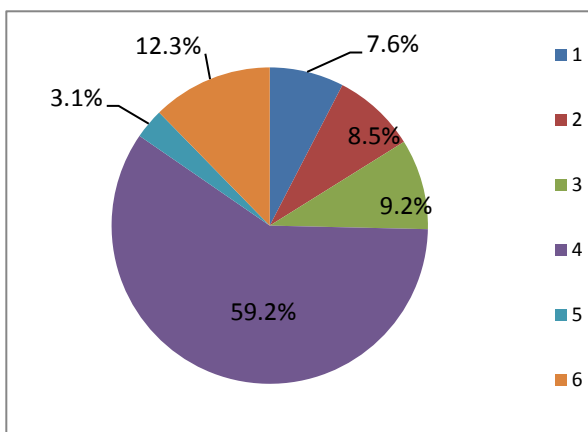
一方の「費用をかけても玄関前(アパート、マンションは棟ごと)からの収集がよい(戸別収集)」と「費用が変わらないなら玄関前(アパート、マンションは棟ごと)からの収集がよい(戸別収集)」では「ごみ出しルールを守るようになるから」が最も多い結果となりました。

理由の「その他」としては、「現状で特に不都合がないため」「うまく管理ができているところもあるため、ステーション収集のままでよい」「高齢者の負担軽減のため、戸別収集にすべき」「ルールを守らない人が多いため、戸別収集にすべき」などでした。

- ③ 当市で戸別収集を実施した場合の、費用の負担についてどう思いますか。
1つだけ選んでください。

No.	回答項目	回答数	割合
1	個人負担（ごみ処理手数料の値上げ）が増えても戸別収集すべき	74	7.6%
2	戸別収集にかかる経費は市（税金）で負担すべき	83	8.5%
3	収集回数を減らすなど経費を抑えて戸別収集にすべき	90	9.2%
4	ごみ収集に係る経費が今以上にかかるのであればごみステーション収集でよい	577	59.2%
5	その他	30	3.1%
0	無回答	120	12.3%
合計		974	100.0%

収集費用の負担については、59.2%が「ごみ収集に係る経費が今以上にかかるのであればごみステーション収集でよい」との回答でした。続いて、無回答を除くと、「収集回数を減らすなど経費を抑えて戸別収集にすべき」「戸別収集にかかる経費は市（税金）で負担すべき」「個人負担（ごみ処理手数料の値上げ）が増えても戸別収集すべき」の順に回答割合が多い結果となりました。その他の意見として、「個人負担が主だが、多少の助成制度があるとよい」などがありました。

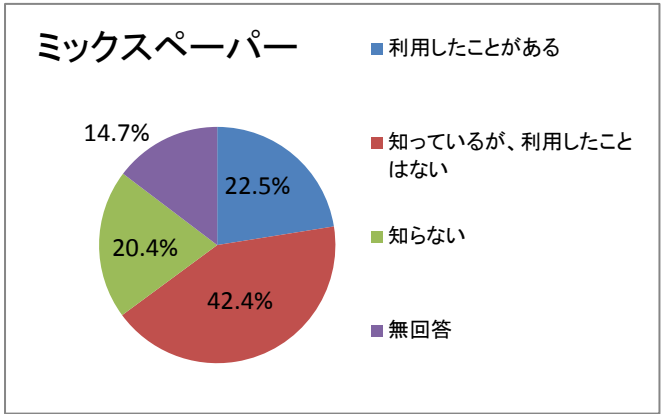
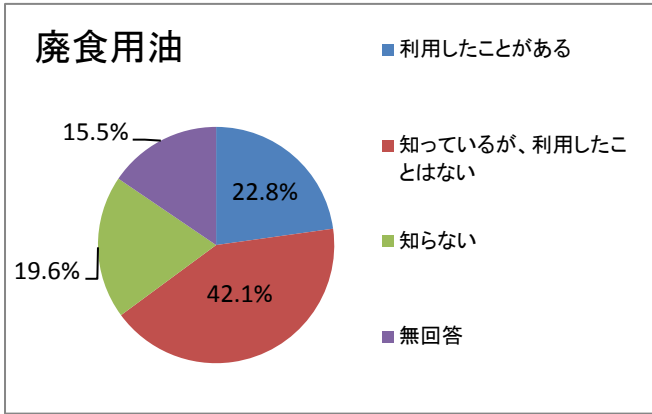
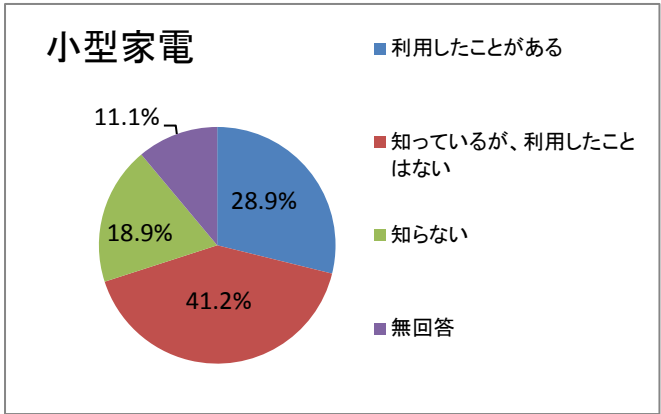
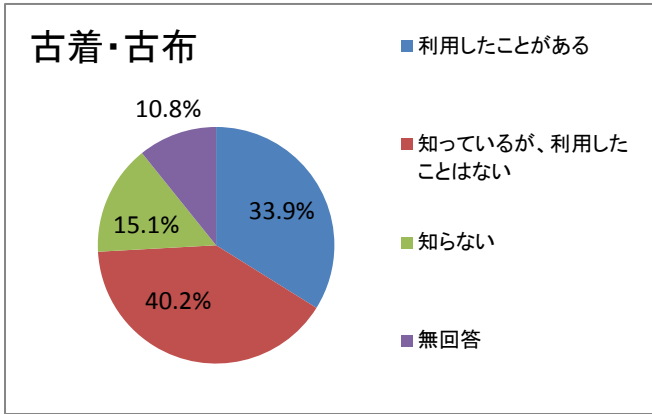


- 【問15】 北広島市では、ごみ減量化の一環として、公共施設等において資源物の拠点回収を行っています。以下の拠点回収品目について、該当する選択肢の数字を回答欄に記入してください。

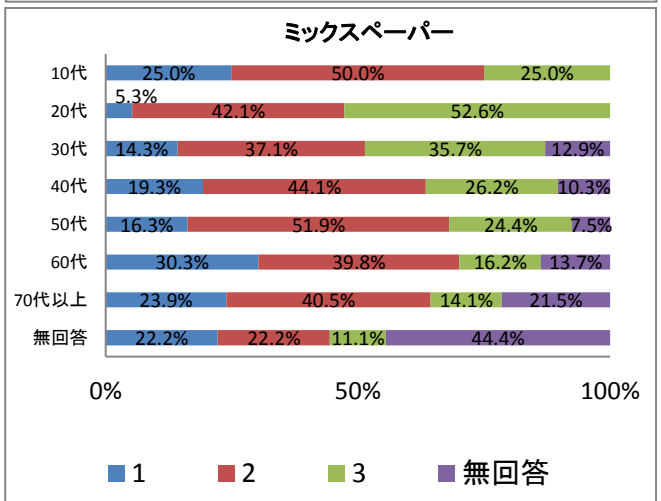
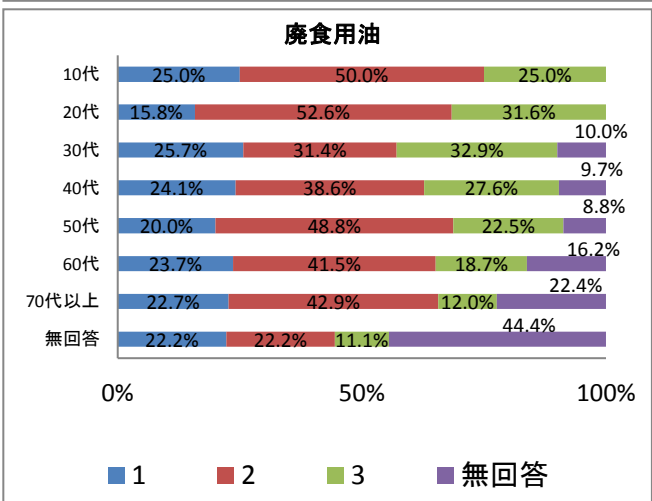
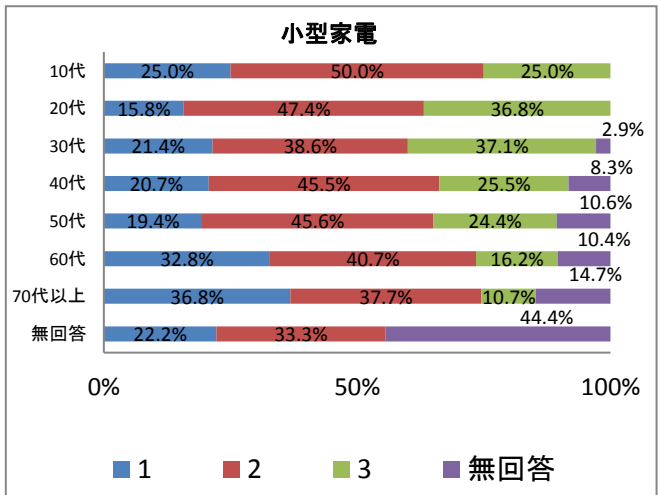
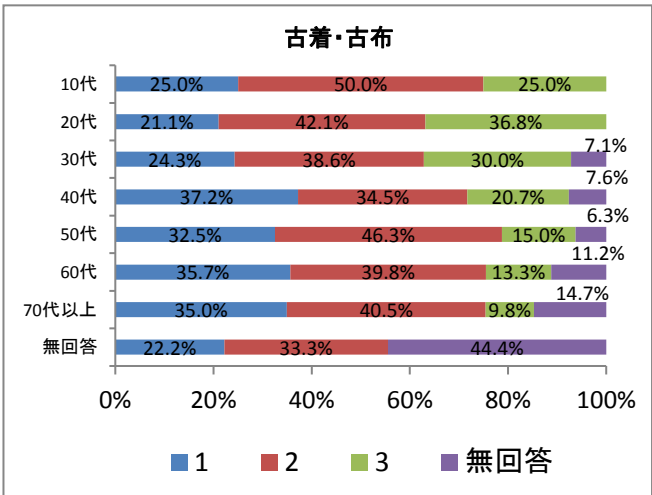
1. 利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない
0. 無回答

品目	古着・古布		小型家電	
	回答数	割合	回答数	割合
1	330	33.9%	281	28.9%
2	392	40.2%	401	41.2%
3	147	15.1%	184	18.9%
0	105	10.8%	108	11.1%
合計	974	100.0%	974	100.0%
品目	廃食用油		ミックスペーパー	
	回答数	割合	回答数	割合
1	222	22.8%	219	22.5%
2	410	42.1%	413	42.4%
3	191	19.6%	199	20.4%
0	151	15.5%	143	14.7%
合計	974	100.0%	974	100.0%

資源物の拠点回収について、「知っているが、利用したことはない」がすべての品目で40%を超える結果となりました。今後も引き続き拠点回収の周知を行う必要があります。平成29年11月から開始したミックスペーパーの拠点回収ですが、平成30年3月末で、30,320kg分ものミックスペーパーを回収することができました。



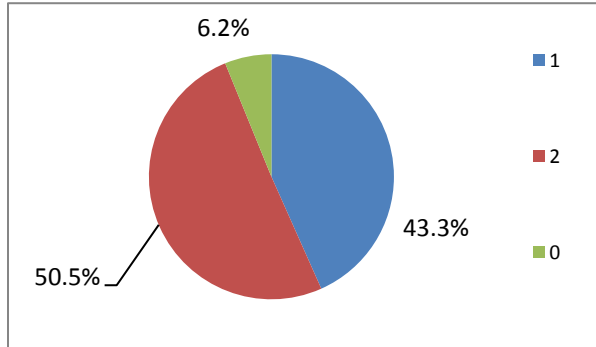
【年齢別にみる拠点回収割合】



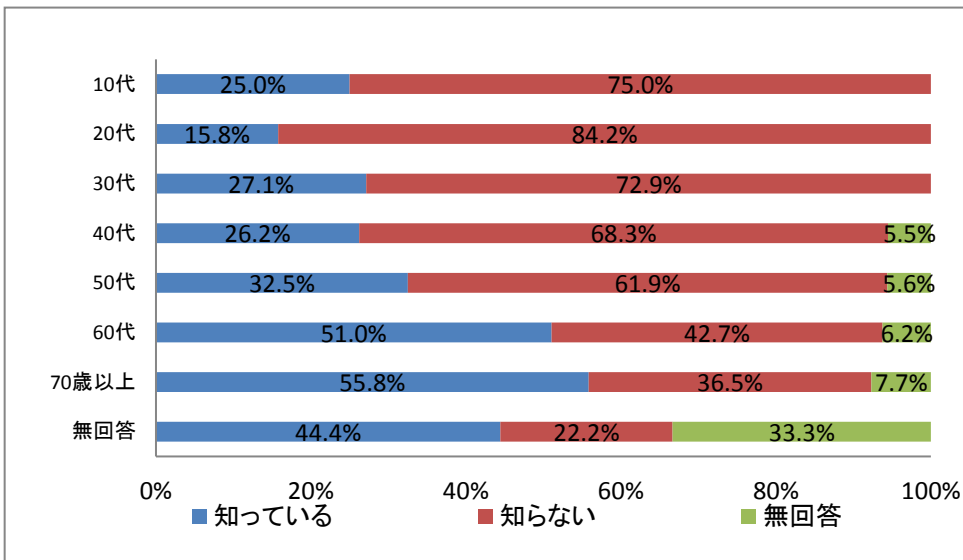
【問16】 北広島市では、近隣市町(千歳市、長沼町、南幌町、由仁町、栗山町)との広域による平成36年度の焼却施設稼働に向け、準備を進めています。広域での焼却施設建設について知っていますか。

No.	回答項目	回答数	割合
1	知っている	422	43.3%
2	知らない	492	50.5%
0	無回答	60	6.2%
合計		974	100.0%

「知らない」が50.5%と「知っている」を上回る結果となりました。



【年齢別にみる広域での焼却についての認知度】



年齢別に見てみると、10代から40代までは「知っている」より「知らない」の回答割合が多い結果となりました。60代及び70歳以上になると、「知っている」の割合の方が多く、70歳以上では55.8%と各世代の中で最も多い結果となりました。

【問 17】 焼却施設建設のことを何で知りましたか。(複数回答可)

※問16で回答項目1を回答した方及び無回答数を集計しています

No.	回答項目	回答数	割合
1	広報北広島	339	70.3%
2	ごみ通信(自治会・町内会回覧)	97	20.1%
3	新聞などの報道	128	26.6%
4	知り合いやご近所の方から聞いた	35	7.3%
5	その他	8	1.7%
0	無回答	61	12.7%
合計		668	-

「広報北広島」で知ったという回答が最も多い結果となりました。その他の意見として、「クリーンタウンきたひろしま」や「市のHPで見た」などがありました。

